

全国安全週間に合わせて 常総労働基準監督署が安全パトロールを実施！

令和3年7月7日



掘削作業が行われていたため、現場の担当者から重機の接触防止センサーの説明を受ける
監督安衛課長(右)

常総労働基準監督署(署長 大久保 一樹)は令和3年7月7日、全国安全週間に合わせ戸田建設株式会社関東支店が施工する常総インターチェンジ周辺地区土地区画整理事業造成工事現場(常総市三坂新田町、造成面積 30.7ha)での安全パトロールを実施しました。

常総労働基準監督署管内における令和2年の労働災害による死傷者数(休業4日以上)は、前年に比べ33人増加の347人、うち死亡者数は前年から4人減少し0人と、前年と比べて死亡者数は0人を達成したものの、死傷者数は増加という状況にあります。

パトロール当日は安全衛生管理活動、熱中症対策、労働災害防止対策等について確認を行い、掘削作業現場において、現場の安全担当者から重機に接触防止センサーを搭載する等の対策について説明を受けました。

また、7月1日から7日までは、全国安全週間であることから、労働安全衛生法等の法令遵守、熱中症対策、感染症対策等総合的な対策により全工期無災害が徹底されるよう要請しました。当署では、引き続き、職場における熱中症の予防をはじめとする労働災害防止に向けて、より実効ある取組を推進します。

【連絡先】常総労働基準監督署
電話:0297-22-0264